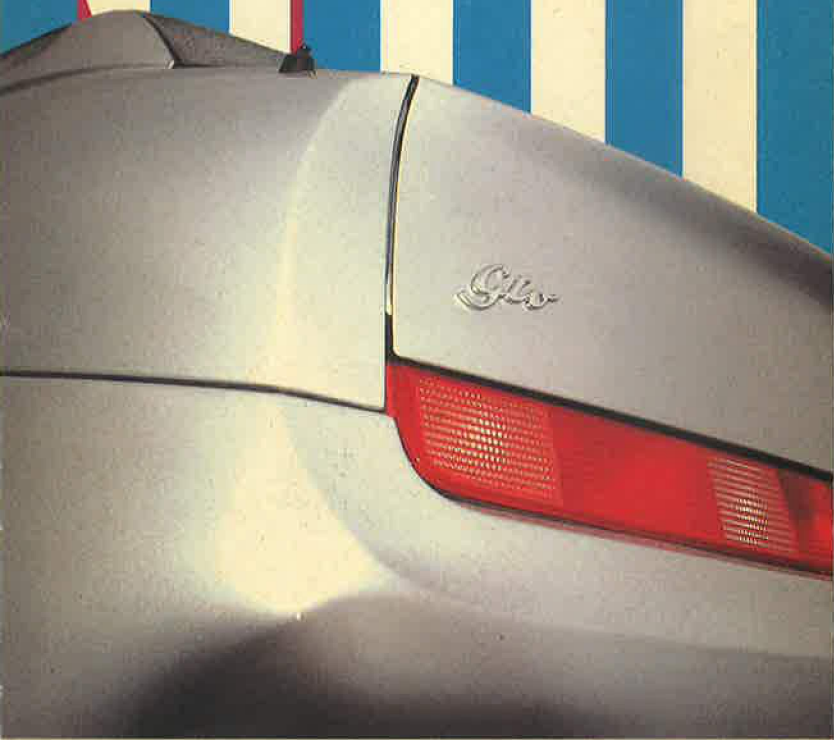


vol.9
Summer '95



Seasonal Magazine For Passionate People
Special Issue

1st. Car of the Year

ALFA ROMEO GTV.....

CLUB



SWEET VACATION '95



たった一度のスウィート・バケーション'95

熱さを吹き飛ばせ！

エアコンの風よりも、窓から吹き込むスピーディな風で
全てが吹っ切れ、溶けてしまうスピードで向かへ！

ボディもハートも解放される安息のバケーションの地に
夏はイリュージョンをリアリティに加速させる。

そう、答えはヒトツ。

Here we go ……

from GST staff

第1回 カー・オブ・ザ・イヤー Part1

突然ですが、イタ・フラ車業界初の快挙!？の特別企画。各クラスごとに読者とスタッフが独断と経験でオススメする旬のイチオシはコレだ!

<採点方法>

1モデルにつき、10点満点で各審査員が評価、最高得点を得たモデルがそのクラスのイチオシ。また、特に素晴らしいモデルには“ウルトラ”マークを、意外と知られてないグッドなモデルには“穴”マークを与えた。カテゴリはボーイズレーサー、スポーツ、日常の足A.B.C、オープンワゴン、旬のニューカーの8部門に分けた。

<審査員>

クラブG読者、スタッフより各3名を選出。合計6名のイタ・フラ車ファンによる激しい?議論が6月18日、横浜、美しが丘にある某コグハウスで深夜まで密かに行われた。

ボーイズレーサー部門エントリー&採点結果

1.ブジョー106ラリー 51pt 2.ブジョー205ラリー 49pt 3.アウトビアンキA112アバルト 45pt 4.ブジョー205GTi 42pt 5.ベネトーネX1/9 39pt 6.ルノー5ターボ 38pt 7.シトロエンAXGTi 32pt 8.アウトビアンキY10ターボ 29pt 8.フィアットトモアバルト130TC 29pt 10.フィアットウーノTB 24pt



1位 ブジョー106 ラリー

ウルトラ (比嘉、セイ)

— まず、めでたくイチオシになった106、ではオーナーの比嘉さんから

比嘉 みて、乗って、触って言うことナシ。欲しいのはエアコンだけ! (笑) ※注GSTではエアコンも用意されています。

原田 デザインも渋い、嫁さんが欲しがっている。

阿部 おもしろいクルマ!

セイ 滑らせながら走らせるのが最高。バックで走らせても楽しい (笑)

サンク すごくイイ。女の子からシートの評判もGood。

ボン エンジンの気持ちがいいわってくる。エスバスの加速(エスバスのV6は、とって速い!)にも、余裕でついて来る。

比嘉 2日で慣らしを終わらせましたヨ、オモシロ過ぎて。高速で195km出た! ホント106は価格も手頃で夏さえガマンすれば最高。ウルトラマーク!

原田 もーチョット、安けりゃなア。

セイ チョット待ってください原田さん、106って



原田 正幸さん
イタ・フラにハマって6年間、5台を乗り継ぐ熱狂的ファン。サンクバカラが愛車。



阿部 友男さん
乗って楽しけりゃ何でもOK! 今はエゴを溺愛する。



比嘉 直さん
カラーランを3台乗りつづけた本格派、106ラリーを購入して人生が変わった!



セイ・鶴岡 御幸知、"走って女の子のウケする車にノボ教" 講師。インやたら詳しい実践派。現在、初代サンクとベスパの6輪体制。(のハズ)



サンク・27・富山 女の子のウケする車にやたら詳しい実践派。現在、初代サンクとベスパの6輪体制。



ボン・斉藤 実自動車メーカーでデザイナーのキャリアをもつ、個性派。パンダが日常のアン。

扱ひ車種の中で一番薄利。ほとんど利益ナイですヨ。

比嘉 ありがとう (笑)

セイ コワれないから、この値段で設定できるんです。

ボン オシャレにしてもう1台、106を購入された病みつきの方もいます。

— ちなみにタマ数と相場は?

セイ タマ無し。皆さん買い替えませんネ。従って相場も今のところナイ状態です。

2位 ブジョー205ラリー ウルトラ (ボン 穴 (比嘉))

— では次、ブジョーのワン・ツーフィニッシュ! 205ラリーにいきます。

比嘉 第三京浜でキャブのイイ音を出しながらたぶん?150kmで走っていた。カッコ良かった! 軽くて、シンプルでバランスがイイ。

原田 やっぱキャブ、音がいい。ウェーバーのツイン!

阿部 乗ってみました。ボディがコンパクト、走りはインパクト。まさにボーイズレーサー!

セイ あのキャブエンジンのレスポンスは106の比じゃない! アタリがついてくるとオカシムんじゃないかと言うくらい良く回る。106のボディに205ラリーのエンジンが乗ればなア。

サンク 一人で乗るのなら10点! 女の子と一緒に話ができないから3点。ウルサイけど素晴らしい

1位
ボン 走りに徹したクルマ。ほとんどエンジンにしかお金かけてない潔さが好き。エアコンをつけて10点ウルトラ!

— 日本には約50台ぐらい入荷されているとウワサの205ラリー、タマ数と相場は?

セイ 年に出ても4~5台。相場は150万前後。

3位 アウトビアンキA112アバルト

原田 このクルマは欲しかった。6~7年前で新車で250万。見た目もカワイイ。ミニなんかよりずっといい。

セイ 古典的なアンダーとタックインが楽しめるクルマ。日常の使用範囲でファンなクルマ。

サンク 絶対スピードが高くないから知り尽くせる

70ps。1週間に一度は洗車、ワックスがけをしよう。ボン 洗車し過ぎても、しなくても錆びる。(笑)

比嘉 クルマのデザインがやっぱイタ車。デルタウィンカーがカッコイイ! 某輸入メーカーでカタログを買った

— タマ数と相場は?

セイ タマ数はソコソコ。エンジンがノーマルで錆びが少ないモノで70~90万。フレームにヤレが少ないモノをお望みの方にはジュニアがオススメ!

・シトロエンAX GT 穴 (サンク) そこそこ面白くて、メンテが楽。値段もこなれてビギナーにオススメ!

・ベルトーネX1/9大穴 (セイ) ドライバーを中心にコマのように回るハンドリング、安くてファン!

スポーツ部門エントリー&採点結果

1.ランチアデルタHFインテグラールEボ 56pt 2.ルノークリオ16V 54pt 3.アルファロメオ75ツインスパーク 48pt 4.ランチアデルタHFインテグラール16V 47pt 5.ランチアデルタHFインテグラール8V 46pt 6.クーペフィアット16Vターボプラス 44pt 7.マセラッティ222SR 42pt 8.アルファ155 ツインスパーク 39pt 9.ルノー21ターボ 38pt 9.ルノーアルピーヌA610 38pt 11.ルノーアルピーヌV6ターボ37pt 12.ブジョー405M116 33pt 13.シトロエンBX19GTi16v 31pt



1位 ランチア デルタHFインテ グラールEボ I, II

阿部 スポーツ&ラグジュアリーの両立。8v、16v、Eボどれも好き。でもパーツの耐久性はもう少し欲しい

セイ Eボは壊れない、イタリア臭も知恵を絞っている。8v、16vはコーナーで肩の辺りでヌケると感じるけどEボはない。すべてでも、カニ走りしても何をしても楽しい。誰もが、オール、カンクネン状態になれる。もう少しボディ剛性があればもっとイイです。

原田 Eボはスタイルが下品。今や8vが新鮮!

セイ ノーデルタ!

比嘉 第三京浜で車高ベタベタのエボが一気に抜かれた。

セイ もしかして阿部さん。(笑)

ボン 日本車と比べるとずっと、エンジンがレシニングカーしている。

セイ 輝かしいヒストリーがあり、手が届くドリムカーと言えばインテグラレぐらい。オート

さんになっても夢を捨てられない不良で子持ち向き。4ドアだし家族も騒せる。ただし、ナンバには向かない。(笑) ナンバに行くのならマセラッティ!

内装でヌレ、エンジンでヌレ、加速でチビる。

— ハイハイ、ところで、Eボのタマと相場は?

セイ タマ数ソコソコ。月に2~3台。相場は程度により、350~550万円。

2位 ルノークリオ16V ウルトラ (比嘉)

※日本ルノーテシア

比嘉 小さなボディにでっかいエンジン。WRCで雪道を駆け抜けて行く姿、シビれる。もう、ウルトラ!

阿部 そう言えば、この前F-1にオカマした。(笑) Eボがなければ10点。4WDがあればなア。

原田 ほんと、乗りやすい。悪い言い方をすると乗用車的。

セイ ラジコンカーのようにクイック!

ボン 好き、好き、本当に好き!

サンク シートのサポートはいいけど、柄が良くない。それを除けばホントにいいクルマ以上 (なぜか笑)

— ではタマと相場を。

セイ タマ数ほとんどナシ! 人気は高い。相場は200万円。

3位 アルファロメオ75ツインスパーク

ウルトラ (原田)

原田 アバタもエクボ、こんないいクルマない。見てヨシ、乗ってヨシ、壊れない、絶対買い! アルファをリーズナブルに楽しむならコ! 家族も騒せるし。

ボン ある意味ではデルタよりスポーティ。80km位からその感覚を味わえる、壊れないしね。女の子ウケもイイ。

サンク アルファのネームバリューは凄いい! やっぱ女の子にはアルファ。しかも、75はオールラウンドで、スポーツから買い物物のアシまで何でもOK!

デザインと人間工学を両立させたクルマ。

セイ タマ数は少ない。相場は170~230万円。

・クーペフィアット 穴 (セイ、サンク、ボン) 圧倒的個性と実用性を持つデザイン、高速ではEボをも凌ぐ!

走る
曲がる
止まる

A to Z

from
WORKS

クルマ大スキ、超スキのアナタにお送りする
熱い夏を乗り切るメンテナンスのワザ。
今回もバッチリお伝えします！

夏のオーバーヒート対策

エンジンをクーリングする冷却水は、夏の大切なチェックポイントのひとつです。まずチェックしたいのは、量と汚れ。特に汚れに関しては、水がサビ色になっていたら要注意！すぐに交換しましょう。ユーザー自身が行う場合は冷却水を入れ替えた後、必ずエア抜きを行ってください。エアが抜けてない場合、水の循環が悪くなりオーバーヒートになります。ただし、エア抜きをした後に水を追加する分には、問題ありません。

また、長年の使用でホースバンドの緩みから、水が漏れるというケースがあります。その際には、なるべくフラットな場所でエンジンを暖気、電動ファンが回る状態まで待つ、その後、クルマを移動させて水が漏れた形跡がないかを調べれば漏れがあるかどうかハッキリします。もし、漏れている場合は、増し締めが必要ですが、専用工具が必要ということと、締め過ぎるのもかえってマイナス効果になるので、その時はワークスにお任せください。万が一、オーバーヒートになった場合は涼しく安全な場所に停止。そして、その時に注意したいのが、エンジンをアイドリング状態にしてボンネットを開け、エンジンをかけたまま徐々にクーリングしていくこと。ヒーターを全開にして、エンジンルームの熱を逃がすのも有効な方法です。水温計が正常な状態になった後に冷却水をチェックしてください。ラジエーターキャップを開けるときは、厚手の布を幾重にも重ね、シャンパンを抜く要領でゆっくりと、くれぐれも気をつけて作業を行ってください！



ワークスメカニック
山形 昇

酷使するバッテリーに注意！

夏はエアコン等の使用によりバッテリーを酷使する季節でもあります。日頃、クルマと接する際にバッテリーの状態をチェックしやすいのはエンジンの始動時。スターターを回す時に元気に回るかどうかポイントです。（ちなみに圧縮比の高いクルマほどバッテリーとセルモーターにかかる負担は大きい！）また、始動時には、エアコン、ワイパー、カーステレオ、カーナビなどの電気系のスイッチを必ずオフの状態にしてください。バッテリーに余分な負担がかかります。特にエアコンをオンの状態でセルを回すとバッテリーのみならず、エンジンやセルにまで悪影響を及ぼすので注意してください。

加えてチェックしていただきたいのは、イグニッションオン時にバッテリーの警告灯が点灯していない場合、バッテリーが充電されていません。その際は、オルタネーターに原因がある事が多いので早めにご相談ください。（オルタネーターのチェックポイントとしては、ベルトが見れる車種については、裏側にヒビ割れがあれば、交換時期とご判断ください）

また、キャブレター車の場合、エンジンが始動しにくい時に長くクランキングをするとバッテリーが直ぐに上がりやすくなるので、アクセルのオン・オフの具合に注意するのがコツ。また、ロングドライブに行く前は特にバッテリー液のチェックをお忘れなく。もし減っていた場合、水道水は使えませんが、ミネラルウォーターならOKです。携帯するものとして、太めのジャンプコードもトランクに入れておくと安心です。もちろん、海外旅行などで長期間乗らない時は、ターミナルを外しておくのは基本ですよ。



ワークスメカニック
鈴木 篤史

ルノー5のチェックポイント

ロングドライブが多くなる季節、愛車のチェックポイントをより熟知すれば、鬼に金棒！ということで、今回はルノー5に関するポイントをご説明します。まずルノー5の場合、同じフランス車でも比較的、冷却水が汚れやすいのでロングドライブの前や定期的なチェックは基本。ラジエーターリザーブタンクの冷却水の汚れと量を確認をしましょう。錆びたままの状態では電動ファンが回り続けると、電動ファンのセンサーにダメージを与えたり、冷却水の循環が悪くなりオーバーヒートの原因となります。また、電動ファン始動の適切なタイミングは、水温計の針が、左から2つ目のポイント指した時。その時にファンが回らなければ、メーターが甘くなってきているか、ファンスイッチの異常の可能性があるため、チェックしてみてください。冷却水の漏れが多いところは1 冷却水ホースのヒビ割れ部分 2 ラジエーターとパイプとのジョイント部分 3 サーマスタットの出口の部分の3か所。水が漏れている場合は、白くなってコナが吹いたようになっているので、確認はしやすいと思います。最後にGTターボについて。エアコンをオンにした状態でスピードを出すと、ガラガラ音が出る場合がありますが、走行上、支障はありません。ただし、全てのクルマに言えるコトですが、高速走行中に、いきなりエアコンをオンにするとエアコン用のクラッチが焼けてしまうのでご注意ください。GTターボに装着されているキャブレター冷却用のパーコレーションファンも夏に活躍するパーツのひとつ。ただこのファンは回っている時間が長く、結構バッテリーに負担がかかるので、エアコンなどの電気を使うモノに関しては早めにオフにした方がベターです。



ワークスメカニック
斉藤 吏市

イタリアれり尽くせりの ■極上カーライフ講座 Q & A■

答える人 セイ・鶴岡

Q: アルファ75ツインスパークと付き合い始めて半年。最近ブレーキのタッチが微妙に変わってきた気がするのですが…?

千葉県浦安市 飯島 洋介さん

A: アルファ最後のFRセダンとして、いまだ、人気の高い75ツインスパーク。このクルマの場合だけでは、ありませんが、ブレーキ・マスター・シリンダーが寿命に近づくと、ブレーキのタッチがスポンジーになり、遊びが大きくなります。最悪の場合、ブレーキが効かなくなるコトもあるので、ブレーキのタッチがフカフカして遊びがチョット大きくなってきたと感じたら、早めにブレーキ・マスター・シリンダーの交換をすることをオススメします。意外と知られてないコトですが、ブレーキ・マスター・シリンダーも消耗品のひとつであると覚えてください。

もうひとつ注意していただきたいのが、ミッションとボディの間にある2個のブッシュ。ヘタってくると、発進時にゴンという感じのショックが出ます。75の場合、トランスアクスルでミッションがリアにあるため、構造上ブッシュがヘタりやすいという特徴がどうしてもあります。この症状が出たときは、ブッシュの交換をしてください。それぞれのパーツの交換時期に関しては、走り方によって全く違うので一概には言えません。イタ車乗りの鉄則どうり日頃のクルマとの対話の中で、タッチの変化に注意してください、シニョール！

User Report

FRANCE

Report NO:F-003

愛車：ブジョー405SRi
 *自転車もブジョーVT-400 (走行不明)
 走行距離：45,000km (購入後20,000km)
 購入年月日：93年11月
 オーナー
 尾上一也さん (文中KO)
 東京都世田谷区在住 会社員



尾上さん独断の幸福度



スタイリング	★★★★★	さすがビニン！文句ナシ
エンジン	★★★★★	もう少しパワーがあればなぁ！
ハンドリング	★★★★★	軽からず、重からず！
燃費	★★★★★	市街地6.5高速10、シェルとの相性がイイ！
総合評価	★★★★★	トラブル知らず、アタリの405！

クルマも自転車もアタリのブジョー！

CG：初めて買ったクルマが405らしいですね
 KO：ええ、雑誌などを見ているいろいろ探したのですが、国産車はデザインが趣味に合わなかったという理由で対象から外れていきました。で、やっぱりクルマはデザインに主張のあるヨーロッパ車だと思い始め、特にデザイン面でアイデンティティのあるブジョーに興味を持ち始めたんです。その中でも309が特に好きだったんですが身長と座高が結構あるので、乗って見てヘッドクリアランスがちょっと辛い(笑)もう少し大きなクルマにするかと言うコトで、405に注目。たまたま、右ハンドルの出物があるという情報をGSTでキャッチし、早速試乗したところ、クセがなくて乗りやすく、それなりに主張のあるエクステリアにも惚れ込み、値段も国産と変わらないレベルだったので即決しました。

CG：購入後2年、ご感想は？

KO：最初は先入観があったんですが、ほとんど、トラブルはありませんでしたネ。あったと言えば、集中ドアロックの不良、エアコンが機嫌を損ねたコト、排気音センサーのワイヤーが切れたこと3点。いずれもマイナートラブルでしっかり直しました。取敢て気になる所と言えば、ブレーキの鳴きぐらい。それ以外は調子はイイですよ。アタリですかネ！(笑)デザインに関しても、フォグランプの無いスッキリしたフロント、リアガーニッシュの無いリアが、オリジナルの良さを残しているようで好きです。しかも、カジュアル、フォーマルどんなシーンでもハマる懐の深さ。乗り心地も素晴らしくスキーで往復500kmぐらい走っても疲れませんネ。

CG：ドレスアップや変更された所は？

KO：基本的にはオリジナルが好きなのでほとんどイジってませんがタイヤとホイールは変えました。タイヤはミシュランMXVからMXV3Aへ。サイズは同じメーカー指定の185/60-14です。古いタイヤの山は6分位あったんですが、3年間の使用で細かいヒビ割れなどがあり、コレが原因らしく結構ロードノイズがあったんですヨ。交換してからは、ノイズも静かになり、グリップもグッド！ブレーキの安定性も増したような気がします。ホイールは405のPCD108という規格のモノがあまりなく、探すのに苦労しましたが、ポーベットと言うドイツ製のホイール(6JX14)を装着。軽快な感じして、気に入っています。

ドレスアップポイント

コレも当たりのポーベット+MXV3A！



ユーザーによるユーザーのための本トクレポート

ITALY

Report NO:I-003

愛車：91年式アルファロメオ75ツインスパーク
 走行距離：15,000km (購入後1,000km)
 購入年月日：95年3月
 オーナー&ファミリー
 瀬尾 明洋さん (文中AS)
 東京都沢市在住 会社員
 瀬尾 聡子さん (文中SS)



瀬尾さん独断の幸福度



スタイリング	★★★★	羨しいないが一目でわかるアクのあるデザイン！
エンジン	★★★★	古さを感じさせるがそこはかたないフィール！
ハンドリング	★★★★	懐かしい味、でも奥は深〜い！
燃費	???	測ったことナシ！
総合評価	★★★★	走っている時はイイ！

405MI16からスイッチした瀬尾さんのアルファライフとは？

CG：75ツインスパークに決めた理由は？

AS：3つのポイントがありました。まず、アルファの輝かしいキャリアからくるブランド性。つぎに、アルファ最後の後輪駆動のマニュアル車であること。そして、箱型のセダンで有ること。以上、3つの理由で75に決めました。

CG：405と比較していかがですか？

AS：最初に感じるのはデザインのテイストの違い。405のエレガント、チョット地味に対し75はアグリー、武骨だけど、インパクトの有る造形。気に入っています。走りに関しては、ヒール&トウを使いシフトでトルクフルなエンジンを楽しむ405に対し、75はシフトではなく、エンジンそのものが楽しめるって感じ。も一回してナンボ状態！だから、長時間走行を続けると、405は右足、75は左足にきますネ(笑)それとアクセルのタッチがトランスアクスルを採用しているからなのか、とてもデリケート、コーナーでのロールも安定している405に比べグッとロールが大きい。だからこそ、オモシロイし、征服してやろって気が起きますね。あと、音は最高、アルファサウンド！日本車はマフラーから音が聞こえますが、アルファはエンジン全体からサウンドが聞こえるって感じ。できる



だけ窓を開けながら走っています。

CG：奥さんのご意見は？

SS：405を運転している時よりも、主人の機嫌が悪いんですよ。

AS：イヤア、75の運転はホント、クルマがヒトに合うのではなく、ヒトがクルマに合わせるという感覚です。405より運転はタイヘンで湖を泳ぐ白鳥の水掻き状態だし、例えばギアが鳴いてしまったときクルマがわるいだけではなく、ドライバー悪い、“ゴメンネ、アルファさま！”という気になりますヨ、不思議とね。

瀬尾式アルファライフのポイント

- ① エンジンにはきっちり仕事をさせる！大事にしすぎると思わなくなる。
- ② グッドコンディション時の音や温度、各種メーターの動きを頭に入れる！
- ③ エンジン、ギア、デフオイル等の交換はこまめに。
- ④ エンジンオイルが暖まらないぐらいのチヨイ乗りはしない。時間を気にせず乗り回す。

ドレスアップポイント

① マフラーはアンサに交換(してあった)

② プロジェクターランプを追加(してあった)



イタ・フラを乗り継いで14年、酸いも甘いも知っているセイ・ツルウオッカネンが今回レポートするのは、話題のアルファGTV！今回は趣向を変えてクーペフィアットとアルファ145を連ねて東京、横浜のあちこちに出没。どのモデルのどこが好きなのか、街頭アンケートを試みた。



START 外苑前セラン

最初に3台が集したのは、外苑前にあるカフェレストラン“セラン”の前。ズラッと3台縦列駐車するとまるで、ミラノの街角のワンシーン、ナンチャッテ。カフェのテーブルに腰掛けしばらく観察して見ると、熱い視線が次第に集まり出す。通りがかりのサラリーマン、OL、ジョギング中のオジサン、クルマ好きとおぼしきベンツのドライバーなどなど。皆、なめ回すようにエクステリアやコックピットをのぞき込む。ウ〜ン好感触ということで、次の目的地に向かった。

アンケート項目 1.どのクルマが好きか 2.その理由

① 某自動車メーカー商品企画部に



て大胆不敵にも、いきなり訪問したのが、世界に名だたる某自動車

メーカー本社。商品企画部の6名の皆さんに意見を伺ってみた。で、代表的な意見を取り上げてみると…

Aさん (33)1.GTV 2.メリハリのあるスポーティなデザイン、タテとヨコのバランスがいいサイズ

Bさん (33)1.GTV 2.斬新なデザイン、特にサイドの切り込みは、日本車にはナイ。インパネはもっと大人の雰囲気欲しい。

Cさん (35)1. 145 2.実用的なデザイン。他の2台は低く流れる今までクーペのデザインとは一線を画している。

GTVが4名、145とクーペが1名ずつという結果。話題はやはり、好き嫌いがハッキリし、ギョッとするほどのビッドなデザイン。そして、GTVの造り。アルミのサブフレーム、ドアの締まる音、ウェザーストリップの使い方などアルファ Romeoはダメじゃない。GTVとクーペフィアットの金額の差は50万円あって当然というシビアな査定も飛び出した。イヤ、さすが商品企画部の皆さん！目の付けどころが違う。ど〜もアリカトウゴサイマシタ。

② 六本木 AXSISビルあたり

続いてアポなしアンケート部隊は、お洒落なクルマ好きが良く来るカーアクセサリーショップがあるアクシスの前で反応をみてみた。



古山 隆さん(21)
榎原 祐子さん(22)

1.二人とも145 2.街乗りで一番使い易さうだから



岩崎 治樹さん(26)

1.クーペフィアット 2.一目中眺めても飽きないデザイン、黄色が欲しい



鈴木江里子さん(26)

1.クーペフィアット 2.日本車には絶対ないデザイン、バルケッタにも期待

③ 市ヶ谷CAR-EX編集部にて

突然ですが、ヒトのコトも顧みず、連日連夜、超多忙のCAR-EX編集部に訪問。自他共に認めるイタ車マニアで155のオーナーでもある“バッシー”こと、櫻橋さんに意見を伺ってみた。



櫻橋 淳さん

1.GTV 2.後ろにビューンと効いたウエッジ。古いジュリエッタをモチーフにした存在感のあるデザイン。今、一番バカリが効く！編集部内でも評価が高いデス。

④ 八重洲driver編集部にて

業界の識者パート2！続いて、懲りもせず、安定した人気を誇る業界の老舗“driver”編集部を直撃。鎌田さんの意見は？



鎌田 学さん

1.クーペ 2.正統派カッコイイ路線であればGTVだけ、クーペフィアットの少しハズしたノリの良い感じが好き。

⑤ 丸の内 オフィス街で

都内の渋滞にもめげず、OLさんの意見を聞くために丸の内に寄ってみた。



匿名希望のOLトリオ

1.3人とも145 2.デザインがかわいい、街中で運転も楽そう。室内も広くて効率的。わりと実用性を重視した意見多し。ただし、乗せてもらうのであればGTVという意見もあり。

⑥ 横浜ベイブリッジパーキングにて

アンケートの最後の地として選んだのはベイブリッジパーキング。理由は夜遅くてもクルマ好きが集まるからである。



友人の古いベレGで来た
中村さん(23)写真右
白谷さん(20)写真左

1.2人ともGTV 2.顔にインパクトがあるから。

というワケで、それぞれの立場から議論百出！個人の好みはバラバラだけど。アルファとフィアットの炸裂している本気のエネルギーがハートに直撃したのは共通のようです！アンケートに協力していただいた皆さん、ありがとうございました。

ALFAROMEO GTV 2.0 ツインスパーク 16V

サイズ：L 4,285mm W 1,780mm H 1,318mm

車輻重量：1,430kg

エンジン：1,970cc Series4 DOHC 16V

150ps / 6,200rpm 19kg / 4,000rpm

性能：最高速 215km/h 0-100km/h:8.5sec

車両本体価格 ¥3,890,000

装備：5速、AC、アルミホイール、集中ドアロック、パワーステアリング、パワーウィンドー、ABS、レザーシート、Wエアバッグ



Fly Like A Bird

from 航空事業部

「アツ」と言う間に新島へ」

ちょっと、贅沢な ワンデー・トリップのすすめ

フライトクラブGでは空飛ぶ万能4人乗りサルーン・ロビンソンR-44でワンデーフライトを実施。ご機嫌なBGMとチョット低音でリズムカルなR-44サウンド! ?のリミックスを聞きながらわずか35分。フェラーリ顔負けの巡航スピード200km/hで、(しかも合法的に!) アツ! と言う間に大島、利島を飛び越えて新島空港に着陸。空での渋滞知らずの高速クルージング35分は地上のそれとは異次元感覚、まさに“ワンデートリップ!”

新島は、シーズン前ということもあり、静かな街並みに潮風が気持ち良く異国情緒いっぱい。誰もいない浜辺に出ると、冷たく透き通る水がとってもGood! こんな短時間で、この素晴らしい環境の地に到着できるなんて。改めて、R-44の有り難さを感じる今日この頃。持つべきものはライセンス! お土産のアシタバ饅頭と牛乳味噌煎餅を購入、これら、とっても美味い。

じゃーん、突然ですが、ここで“新島フライト記念スペシャルクイズ”です。



▶ 新島空港



▲ 新島の美しい海岸線
途中で遭遇した赤船▶



Q: この異国の地を走るクルマのナンバーは、どこのナンバーでしょうか? (ヒントはありません)

正解者の中から抽選で3名様に新島を知り尽くした! ?パイロットが厳選した新島みやげをプレゼント! 応募はアンケート葉書でお申し込みください!

帰路もR-44は、相変わらずご機嫌で、最高速240km/hまでの加速はストレスを感じさせず、とてもスムーズで、パワーに余裕を感じさせるほど。若干の振動をパイロットがコントロールスティックに感じる以外はとてもコンパクト!!。最初は“乗り物に弱い”と言って同乗した後席の女性も、“船よりはずっと快適”とワンデートリップを楽しんだ様子でした。

ところで、前号でお知らせしました、新クラブ機、R-44カラーリングコンテストの状況ですが、応募総数は100通を突破! 多くの方にご応募頂きありがとうございます。グッドセンスの作品が多く、スタッフの選考に時間がかかっています。次号には新しいデザインをご紹介しますことと思います。お楽しみに!

フライトクラブG 会員募集中!

青い空を自由に操れる翼が欲しくありませんか? 当フライトクラブのパイロットは、現在33名。元気な仲間を待っています。体験フライトは常時受付中! お申込、ご相談はお電話か、最寄りのショップでお気軽に!

お問合せ先 ☎0120-14-7244



倶楽部



超弩級探検隊 ③

MT-4

今や、カルトからメジャーへ、
熱狂的イタ車ファンに特に知名度の高いMT-4。
今回は代表の芝崎氏に突撃訪問の巻だ!

CG—そもそも、MT-4の名前の由来は?
芝崎—マセラッティ兄弟が自ら作ったマセラッティを飛び出し、ポロニヤで新たに起こしたメーカー、“オスカー”。そして、そのオスカーで1950年代前半に作られたミッレミアリアやタルガフロリオでクラス優勝した経験を持つ、小さなバルケッタスポーツ。それが、MT-4なんです。その大好きなクルマの名から取りました。

CG—始められたきっかけというの?
芝崎—前の会社をやめて、生活の糧としてビジネスを始めようとしたときに、もともとイタリアの古い車が好きで4年前にイタリアのステッカーを扱い始めたのがきっかけです。その後、デルタのブームに比例して、ステッカーやアクセサリーの人気もブレイク! 蓋を開けて見るとそれだけで商売になるようになりました。それと、以前から手掛けていた古いアバルト、ランチア、アルファロメオのレアなパーツなどに関しても、現地でのパートナーが同じ趣味で、意気投合! 信頼関係みたいなものができたんです。実は、イタリア語もほとんどできないんですけどね。(笑) おかげで、独自のネットワークができ、さらにレアなパーツも供給できるようになりました。CG—なにか感じられたことはありますか? 芝崎—例えば、スカイラインを好きなヒトが、血眼になってスカイライングッズを探るかと言うと、そんなコトはないですよネ。やっぱり、ランチアやアルファロメオというのは、ずっとラリーやレースをやってきて、凄く憧れみたいなモノが凝縮されている気がしますネ。そういう強いオーラがあるメーカーやモデルだからこそ、オーナーの皆さんが本当に欲しがるワケだし。日本車も一部には、熱い支持を受けているモデルがありますけど、イタラの場合は“熱さ”が全然違いますヨ。だから、もっと、もっと日本には紹介されて

ないイイものを探して、多くの方の手に渡るようにしてあげたい、と思っています。

CG—オスカーのパーツは?

芝崎—やっぱり、スバルコとモモのデューブコーンと呼ばれているステアリングですね。イタ、フラ車の場合、全ての車種ではありませんが、ボスの取り付面から握りのところまでが、オフセットされて深く、日本人の体型の場合、ステアリングまでが遠いことが多いんです。それがちょうどいいポジションに改善されますヨ。特に、デルタ、ウーノ、パンダ、205、106にはオスカーです。スバルコ自体は有名ですが、スバルコのステアリングというのは、モモより新鮮でモデルやカラーバリエーションも多くてイイと思います。アバルトのリプロダクションモデルもフラットでフィアット系はオスカーです。ステアリング交換はクルマ好きの基本です。



CG—今後の計画は?

芝崎—どちらかと言うと、現在はイタリア車が中心ですが、今後は、フランス車のアクセサリーやパーツにもっと力を入れる予定です。ちなみにフランス車関連で、最近のイチオシはプジョースポールのステッカーですネ。これは、つくりが凄くイイです。今後ともご期待ください。

MT-4提供、クラブG読者限定 プレゼント!



夏のステッカー
チューンはコレ
で凝れ。

人気のステッカー3種を合計20名様!
(ブレムボ、ミッレミア各5名様、OMP10名様) 応募は同封のアンケートが官製ハガキで編集部まで。8月20日消印有効、当選は発送を持って発表とさせていただきます。



百花繚乱クラブイベント3連発プラス速報!

2nd FIATFESTA

去る4月29日、静岡県小山町の富士高原サーキットで、第2回フィアットフェスタが開催された。当日は昨年の3倍弱、約350台の新旧含めたフィアット車が大集合!恒例のジムカーナを始め、124のコンクール、GST主催による新車試乗会など、昨年以上の盛り上がりを見せた。また、約700mのテクニカルコースで激しいバトルが繰り広げられたジムカーナでは、横浜店で8,000回転まで回る!“伝説のA112アバルト”を購入頂いた石井守さんが、1300cc以下のAクラスで見事6位に入賞!タイムは56秒98、トップタイムは同じくA112アバルトを駆る大町康さんの54秒26だった。



大健闘の石井さん 公道にはないタイトなコースで面白かった。来年も更に軽量化して挑戦します。



8th ALFAROMEODAY

5月13日、14日の2日間に渡って行われたA.R.DAYにも昨年を上回る240台あまりが参加。初日のゲームラリー&パーティ、2日目のドレスアップコンテスト、フリーマーケットとアルファ濃度が高く、今年もアルフィスタにとってラストなイベントだった。



1st I&F quiz rally

クラブG読者の福富さん、加藤さんを核に、運営されたアットホームなイベント、I&Fクイズラリーが遂に5月28日に開催された。当日はナント!予定されていたコースの一部が実は山中湖ロードレースのコースと重なっていたと言う、ハブニング?にもめげず、(途中でロードレースに急遽参加した女性ナビも登場したとのウワサ...ホンマカイナ?)イタリア車、フランス車が関東圏を中心に遠くは名古屋(ZXの伊藤さん御苦労さまでス!)まで、35台が参加。参加者はそれぞれのペースで、楽しみながらクイズを解き、ゴールの田貫湖のほとりに無事にたどり着いた。なお、クイズラリーの10位までの入賞者は以下のとおり。(敬称略)ウー、かなりの接戦!



優勝した池本さんと愉快(?)な仲間達

優勝 103pt 池本浩司 ブジョー106ラリー

- 2位 102pt 芦川武史/ルノー5GTターボ
- 3位 101pt 鈴木 猛/アルファ75ツインスパーク
- 4位 100pt 阿部好成/ルノー19TXE
- 5位 99pt 伊藤英高/シトロエンZX
- 6位 98pt 戸沢香子/フィアットバンダ
- 7位 97pt 岡田??/ノスカイラインGTR 1
- 8位 97pt 奥津広秋/ブジョー205GTI
- 9位 97pt 遠藤正隆/ブジョー306S16
- 10位 96pt 近藤雄二/シトロエンBX19GTI 16V



速報 第2回I&Fミーティング早くも開催決定!

10月29日(日)に日本ランドジムカーナ場にて、ジムカーナを始め、各種ゲームや運転講習など、さらに楽しさをチューニングして開催予定。参加希望者は同封のアンケートハガキに必要事項を記入して投函してください。詳細が決定次第、I & F実行委員会よりお知らせします!お楽しみに。

第9回フレンチブルーミーティング

毎年、長野県車山高原で開催されるF.B.M.今年も例年より少し早く、10月14日、15日に決定した模様。詳細は次号で!

106RALLYE+XSI=106PRO-CAR 106ラリーをベースにXSIの装備を追加!

PEUGIOT 106 PRO-CAR

車両本体価格 ¥2,150,000

諸費用明細		消費税 ¥37,800
取得税5%	¥107,500	納入時期によって異なります。
消費税3%	¥64,500	検査登録費用
自賠責保険	¥43,800	地域によって異なります。
Total ¥2,403,600		



The Face

ALFAROMEIO GTV 2.0ツインスパーク16V

遂に上陸したアルファの新作。アルフィスタならずとも、大注目のモデル。実物を見るだけでアルファの元気がヒシヒシ伝わってきます。まだGTV未経験のヒトはショップへ直行!

車両本体価格 ¥3,890,000



P R E S E N T



FIAT FESTA'95

オリジナルステッカー25名様
(フィアットフェスタ実行委員会提供)
お申し込みは同封のアンケートが官製葉書で編集部まで。お待ちしております。

夏期休業のお知らせ 8月10日(木)~16日(水)

上記の期間は、勝手ながら全店夏期休業とさせていただきます。宜しくお願いします。

From 編集部

好評のドレ・コンは今回は誌面の都合上休ませていただきました。次号以降で再開します。乞うご期待!(S)皆様のアンケートに記入頂いたご意見は編集の際に参考にさせていただきます。今後もあり、積極的かつ建設的な声やアクションをお待ちしています。(N)

ユーザーレポート、ドレ♥コン参加者、各種投稿、随時受付募集中!

投稿送り先 〒227横浜市青葉区たちばな台2-2-33 フォレストA館

(株)ジー・エス・ティー クラブG編集部まで

CLUB CLUB CLUB



株式会社ジー・エス・ティー

本社	〒227 横浜市青葉区たちばな台2-2-33	TEL045-961-1334
横浜店	〒225 横浜市青葉区美しが丘5-30-1	TEL045-901-0350
東京店	〒167 東京都杉並区松庵1-16-16	TEL03-3334-4126
埼玉店	〒338 埼玉県浦和市栄和3-2-22	TEL048-852-5978
福岡店	〒816 福岡県大野城市御笠川6-1-14	TEL092-504-6333
仕入特販	〒227 横浜市青葉区たちばな台2-2-33	TEL045-961-1336
エア-&マリン	〒227 横浜市青葉区たちばな台2-2-33	TEL045-961-1334
ワークス	〒227 横浜市青葉区恩田町2120-1	TEL045-961-5464
インシュアランス	〒227 横浜市青葉区たちばな台2-2-33	TEL045-961-1334
GST America	3565 NE Cornell Road Hillsboro Oregon 97124	TEL503-648-7909



Global Situation with Trust